

小中学校における特別支援教育支援員の現状と 今後の在り方を考えるⅢ

～支援員を取り巻く環境の実際から考える～

日本リハビリテーション連携科学学会 定例研究会
(研究推進委員会・教育支援研究会の共催による公開セミナー)

日本リハビリテーション連携科学学会の自主研究会である「教育支援研究会」では、令和3年度より、小中学校における特別支援教育支援員を対象とした調査研究を行っております。昨年度は小中学校における支援員の職務や活用の実態について、待遇等のハード面、支援内容等のソフト面の両面から支援員のサポート体制について協議を行いました。今年度は支援員に対する制度や研修に焦点を当てて、調査を行っています。今回のセミナーでは、研究会で取り組んだ研究等の報告に加えて、支援員を経験された方からのお話を含めた話題提供をします。そして指定討論を含めた協議を通して今後の在り方について参加者のみなさまと考えます。

研究会は、対面とオンラインの両方でご参加いただけます。また参加費はどなたも無料です。

なお本セミナーは、日本リハビリテーション連携科学学会 研究推進委員会と教育支援研究会との共催による、定例研究会として実施します。

期 日

令和7年3月1日(土) 14:00～16:00

※13:30 よりミーティングルームを開始します。

参加費無料

開催方法

対面参加 会場:東京家政大学 板橋キャンパス

(東京都板橋区加賀1-18-1)162A 講義室

オンライン参加(オンラインミーティング【Zoom 活用】)

※ オンライン配信に要する通信料等は、各自の負担となります。

※事前にメールにて、ミーティング ID とパスワードを送付いたします。

(定員:対面 40 名、オンライン 100 名)

内 容

【開会挨拶】 大内 進 (教育支援研究会)

【研究推進委員会委員長挨拶】 會田 玉美 氏(目白大学 リハビリテーション学研究科)

【研究及び実践の報告】

テーマ「小中学校における特別支援教育支援員の現状と今後の在り方を考えるⅢ

～支援員を取り巻く環境の実際から考える～

- 話題提供1「特別支援教育支援員の研修に関する実態調査—学習支援と生活支援を中心に—」
(真鍋健/教育支援研究会/千葉大学 教育学部)
- 話題提供2「支援員を取り巻く環境の実態—研修と評価を中心とした質問紙調査より—」
(若井広太郎/教育支援研究会/東京家政大学 児童学部)
- 話題提供3「支援員としての経験と今後求めること」
(石井氏/元A市特別支援教育支援員)

申し込み

事前申し込みとします。お申し込みは下記の URL

(または QR コード)からお願いいたします。

＜お申し込みフォーム＞<https://forms.gle/XMxVKo8yvvr2BulrS7>

その他のお問い合わせは、下記までお願いします。

日本リハビリテーション連携科学学会「教育支援研究会」

連絡先 wakai-k@tokyo-kasei.ac.jp 若井広太郎

